

スタート! いじめ



枚方市教育委員会

目 次

1. はじめに	・・・ 1
2. いじめって何？	・・・ 2
3. 見逃さないで！いじめのサイン	・・・ 4
4. 学校で見られるいじめのサイン	・・・ 5
5. いじめられているのではないかと思ったら	・・・ 6
6. いじめているのではないかと思ったら	・・・ 6
7. ネット上のいじめから子どもを守るために	・・・ 7
8. 枚方市いじめ防止基本方針	・・・ 8
9. 学校以外の相談窓口	・・・ 9

★1. はじめに

いじめは子どもの心や体に、またその成長に大きく影響をおよぼす重大な人権侵害であり、決して許される行為ではありません。また、いじめはどこにでも起こりうる事象であることを、知っておかなければなりません。

平成25年に「いじめ防止対策推進法」が制定され、いじめ問題は社会全体に関する国民的な課題であり、子どもも大人も「みんな」で取り組むことが求められています。本市においても、いじめのない社会をめざして、平成26年7月「枚方市いじめ防止基本方針」を策定（平成30年9月改定）すると同時に、「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」と「枚方市学校いじめ対策審議会」を設置しました。また、令和5年からいじめ相談を含むSNS相談を開始するとともに、「いじめ相談窓口」を新たに開設するなど、いじめ問題に市全体で取り組んでいます。

学校は子どもたちがいじめのない人間関係を形成できるよう、子どもたちの指導・支援に努めます。しかし、いじめ問題は学校だけの課題ではありません。いじめを決して許さない子どもを育て、いじめのない学校や社会をつくっていくためには、保護者や地域、関係機関の連携と協力が不可欠です。

保護者の皆さんも、わが子をよく見つめ、いじめのサインを発していないかどうか、見守ってください。また、子どもの話をよく聴いて、困難に立ち向かう勇気を与えてください。そして、他の子をいじめることがないよう、いじめを見ても見ぬふりをすることがないよう、いじめは絶対に許されないことだということをご家庭でも十分話し合ってください。

この冊子が、いじめについて、考えていただくきっかけになることを願っています。

令和5年8月



▼ 枚方市 ひこぼしくん

★ 2. いじめって何？

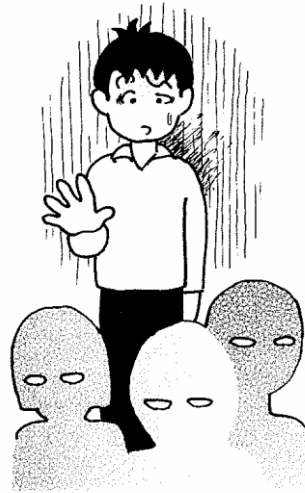
いじめは、誰にでも起こり、誰もが加害者にも被害者にもなる可能性があります。そして、いじめは子どもの心や体に深い傷を負わせます。さらに、エスカレートすると、いじめが犯罪行為となることもあります。

<いじめの例>

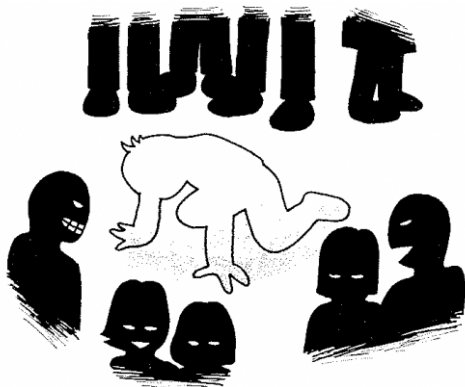
冷やかしかからかいを受けたり、悪口やおどし文句、いやなことを言われる。



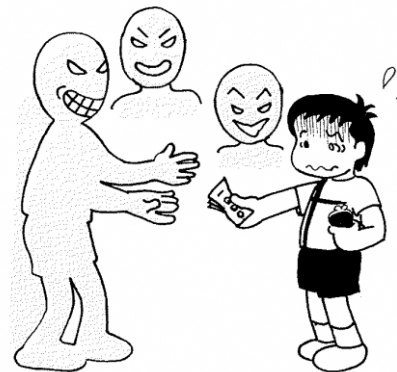
学級などで、仲間はずれにされたり、集団で無視をされる。



遊ぶふりをして、叩かれたり蹴られたりする。あるいは、ひどく叩かれたり、蹴られたりする。



お金や物をおどしとられたりする。



物を汚されたり、こわされたりする。



靴や学用品を隠されたり、盗られたりする。



万引きなどのいやなことや、恥ずかしいことを強要される。



インターネットや携帯電話等を通じて、いやなことをされたり、悪口を書かれたりする。



いじめは、いじめを行っている子どもといじめを受けている子どもばかりではなく、学級など、周囲ではやし立てる子ども（観衆）や、見て見ぬふりをする子ども（傍観者）がいることでエスカレートしていきます。反対に、周囲の子どもたちが仲裁をしたり、周りの大人に知らせることで、いじめは解消に向かっていきます。

学校でも家庭でも、『いじめは絶対にダメ！』ということを、子どもたちと話し合い、いじめを許さない子どもをみんなで育てていきましょう。

いじめの定義

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものを含む。）であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

（「いじめ防止対策推進法」第2条）

★ 3. 見逃さないで！いじめのサイン

その1 いじめられているかも？

いじめを受けている子どもは、そのことを周りの大人に話せないことがあります。また、いじめは大人の見えにくいところで行われることが多いため、気づかれないことがあります。(1)のサインが繰り返し見られたり、(2)のサインが見られたら、要注意です。

(1) ちょっと気になるサイン

- ・元気がなく、イライラしている。
- ・朝晩のあいさつや、話をしなくなった。
- ・食欲がなくなっている。
- ・家族に乱暴な態度をとる。
- ・帰ってくると、衣服が汚れている。
- ・お金をねだる。
- ・友達からの電話に対して対応が暗い。
- ・急に成績が下がる。

(2) すぐに対応が必要と思われるサイン

- ・教科書やノートに本人の筆跡でない落書きがある。
- ・悪口の書かれた手紙がある。
- ・家のお金がなくなっている。
- ・身体に不自然な傷やあざがある。
- ・友達からたびたび呼び出され、いやそうに外出する。
- ・買った覚えのない物を持っている。
- ・夜、寝られなかったり、夜中にうなされる。
- ・友達が急に遊びに来なくなり、1人であることが増えた。
- ・学校に行きたがらない。
- ・衣服に汚れや、靴のあとがある。
- ・たびたび物がなくなったり、壊れたりしている。

その2 いじめを行っているかも？

いじめを行っている子どもは、自分自身がいじめを行っているとは認識せず、からかひやいたずら半分で行っていることが多くあります。また、いじめを行っている子ども自身、何かにストレスを感じていて、大人に助けを求めていることがあります。

こんなサインに注意しましょう

- ・すぐにカッとなって、暴力を振るう。
- ・友達を呼び捨てにする。
- ・言葉遣いが荒くなる。
- ・友達をバカにした口調で話す。
- ・買った覚えのない物を持っている。

★ 4. 学校で見られるいじめのサイン

いじめのサインは、学校で見られることもあります。

学校では、次のようなサインを、子どもたちが発していないか気をつけて見ていきます。このようなサインが見られれば、子どもに声をかけて、困っていることがないか尋ねたり、注意深く見守るとともに、保護者にも連絡し、家庭と連携して対応していきます。

- ・理由もなく、1人で朝早く登校する。または登校が始業ぎりぎりになった。
- ・授業に意欲をなくし、集中力がなくなってきている。
- ・休み時間や放課後、1人でいることが多くなってきた。
- ・休み時間や放課後、用もなく職員室に頻繁に来たり、職員室の前をうろうろしている。
- ・保健室に出入りすることが多くなっている。
- ・いつもおどおどしている。先生と視線を合わさない。
- ・グループから急に離れたり、交友関係が変化した。
- ・いつも人の言いなりになっている。
- ・教室移動などのとき、1人離れて教室に入ってくるようになった。
- ・椅子や机を乱されている。
- ・教科書やノートに落書きが目立つようになった。
- ・授業中発言をしたら、理由もなく笑われる。

学校では、つらい思いをしている子どもを守ることを最優先に、取組を進めていきますので、家庭でも気になることがあれば、どんな小さなことでも、担任など学校の先生に伝えてください。

家庭と学校の連携が、子どもにとって何より頼りになります。



もしかして？

★ 5. いじめられているのではないかと思ったら

- ① 子どもの気持ちに寄り添い、ゆっくり話を聴きましょう。
 - ・無理強いせず、「あなたの味方だよ」という姿勢で聴くことが大切です。
- ② 子どもの気持ちを大切に、まず学校に相談してください。
 - ・学校では、スクールカウンセラー（*注1）や心の教室相談員（*注2）が子どもや保護者と相談をしながら、心のケアを行います。
 - ・子どもや保護者の意向を大切にしながら事実確認を行い、解消に向けた取組を行います。
- ③ 学校以外にも相談する窓口があります。また、場合によっては警察等に相談することもできます。

（9ページ参照）



わが子が

（注）

- * 1 スクールカウンセラー・・・大阪府の全公立中学校に配置されている心理の専門家
- * 2 心の教室相談員・・・枚方市立全小学校に配置されている教育や発達に関する相談員

★ 6. いじめているのではないかと思ったら

- ① 頭ごなしに叱ったりせず、まず本人の言い分をよく聴きましょう。
 - ・何があったのか聴きとり、子どもと十分話し合ってください。
- ② 「これくらいで・・・」と思わず、ていねいに子どもの話を聴き、小さなことでも、まず学校にご相談ください。
 - ・いじめは行った側は小さなことと思っても、受けた側はそうではないことがあります。
 - ・学校でも、ていねいに話を聴きとりながら、事実確認を行い、家庭と連携しながら、対応を考えていきます。
- ③ いじめを行っている子ども自身、何かにストレスを感じていることがあります。いじめを行っていることがわかったら、「理由はどうあれ、いじめは許されないこと」をお子さんに話すとともに、「これからどうしたらいいか、親子で一緒に考えよう」という姿勢で話し合しましょう。



★ 7. ネット上のいじめから子どもを守るために

近年、インターネットや携帯電話などによるいじめが社会的に問題になっています。ネットの掲示板やSNSに書き込まれた誹謗中傷や画像などは、学校や保護者が実態を知ることが大変難しい上に、短期間で拡散してしまうおそれがあります。また有料のゲームなどをめぐるトラブルも起こっています。

ネット上での書き込みは一度行われると、完全に削除することはほぼ不可能であると言われてしています。

ネット上でのいじめやトラブルから子どもを守るためには、携帯電話やパソコンの使用に際して、家庭で話し合いルール作りを行うことが大切です。

<家庭内でのルールの例>

- ・携帯電話を使用する時間帯を決めておきます。(食事中や深夜には使用しません。)
- ・自宅内では、パソコンや携帯電話を居間で使います。
- ・課金されるゲームなどは行いません。
- ・人の悪口や人を傷つけるような書き込みをしません。
- ・送信者不明や知らない人からのメールやメッセージが来たときには、返信せず、出来るだけ早く保護者に相談します。
- ・SNSなどを利用する場合は、保護者と設定について話し合います。
- ・自分自身、家族、友達の個人情報に関することは書きません。
- ・ルール違反や携帯電話の使用によって生活や学習に支障が生じているときには、携帯電話の利用を禁止します。

もし、掲示板などに誹謗中傷などの書き込みをされたときには、出来るだけ早く掲示板の管理人やプロバイダに削除依頼をします。ネット上の被害やトラブルについては、学校以外でも下記の相談窓口がありますので、利用してください。

大阪府警察本部 サイバー犯罪対策課

https://www.police.pref.osaka.lg.jp/seikatsu/saiba/cyber_soudan/index.html

大阪府消費生活センター

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shouhi/>

★ 8. 枚方市いじめ防止基本方針（平成 30 年 9 月改定）

枚方市では平成 26 年 7 月に「枚方市いじめ防止基本方針」を制定しました。

「枚方市いじめ防止基本方針」は、いじめを未然に防止するために、市、学校、子ども、保護者、地域・関係機関の役割を明らかにし、いじめ防止や対策を検討するための組織の設置を定めています。

また枚方市立全小中学校では「学校いじめ基本方針」を定め、定期的にいじめアンケートや教育相談を行うなどして、いじめの未然防止や早期発見につとめ、子どもたちが安心して笑顔で学べる学校づくりを進めています。

枚方市いじめ防止基本方針、
同概要版は、枚方市のホーム
ページよりご覧になれます。→

（枚方市いじめ防止基本方針より）

いじめの未然防止のために—それぞれの役割

- | | |
|---------|------------------------|
| 教育委員会 | ・ ・ 必要な施策の推進 |
| 学 校 | ・ ・ 安心して学び、生活できる学校づくり |
| 子ども | ・ ・ みんなで協力していじめをなくす |
| 保護者 | ・ ・ 日頃からのコミュニケーションを |
| 地域・関係機関 | ・ ・ 学校・保護者と連携した子どもの見守り |



いじめ防止や対策のための組織

「枚方市いじめ問題対策連絡協議会」

いじめ防止等に関する枚方市の関係部課と関係機関との連携の強化のために設置します。

＜構成員＞枚方市・枚方市教育委員会の関係部課担当者、大阪府中央子ども家庭センター、法務局、警察、スクールソーシャルワーカー等

「枚方市学校いじめ対策審議会」

いじめ防止等の対策が効果的に行われるよう調査・研究をしたり、設置します。

＜構成員＞弁護士や学識経験者、心理や福祉の専門家など

「枚方市学校いじめ重大事態調査委員会」

子どもたちの生命にかかわる重大事態が発生した場合、中立かつ公正な第三者の立場から調査を行うために設置します。

＜構成員＞弁護士や臨床心理の専門家など、対象となるいじめと利害関係のない第三者

「枚方市いじめ問題再調査委員会」

重大事態の報告結果について、市長が再調査の必要性を認めたときに設置されます。

★ 9. 学校以外の相談窓口

子どもがいじめられている、いじめていると感じたときは、学校以外でも次のようなところで相談に応じてくれますので、ご利用ください。



1. 枚方市の主な相談機関

機関名	窓口名称	電話番号	相談日時・内容等	所在地
枚方市 教育委員会 教育支援室 児童生徒支援課	「子どもの笑顔 守るコール」 幼児・児童・生徒 に関する 電話相談窓口	いじめ専用ホットライン 072-809-7867 FAX 072-851-2187	月～金 9:00～17:00 (祝日・年末年 始除く) いじめに関する 相談	枚方市 車塚 1丁目 1-1 輝き プラザ きらら 4階
		教育安心ホットライン 072-809-2975	月～金 9:00～17:00 (祝日・年末年 始除く) 教育一般に関する 電話相談	
市長公室 人権政策室	いじめ相談窓口	072-841-1656 FAX072-841-1700 ijime@city.hirakata.osaka.jp	月～金 9:00～17:30 (祝日・年末年 始除く)	枚方市 大垣内町 2丁目 1-20 枚方市 役所別館 5階
子どもの育ち 見守り室 (ととな) 子 ども相談課	「家庭児童相談」 子育てや親子 関係、友人関係の ことなど、18歳 未満の子どもに関 する様々な相談	050-7102-3221	月～金 9:00～17:30 (祝日・年末年 始除く) 電話または来所 (要予約)によ る相談	枚方市 岡東町 12-3- 410 サン プラザ 3号館 4階
枚方人権 まちづくり協会	人権なんでも相談	072-844-8788	月・水・木・金 9:00～17:30 (祝日・年末年 始除く) 第1水曜・第4 木曜 12:45～17:30 火曜日 12:45～20:00	枚方市 岡東町 12-1- 502 サン プラザ 1号館 5階
SNS 相談	アプリ (ぽーち)	枚方市立小中学校児童・生徒 の一人一台端末にインストー ルされているアプリから相談 ※時間外でも相談内容の送信 は可能	月～金 9:00～17:30 (祝日・年末年 始除く)	

2. その他の主な相談機関

機関名	電話番号	相談日時・内容等	所在地
大阪府教育センター すこやか教育相談	子どもからの相談 (すこやかホットライン) 06-6607-7361 sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp	月～金 9:30～17:30 不登校、家庭における子育て、 しつけ、進路等についての相談 電話による相談 メール、FAX相談は 24時間受付。(回答は後日)	大阪市住吉区苅田 4丁目13-23
	保護者からの相談 (さわやかホットライン) 06-6607-7362 sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp		
	FAX(共通) 06-6607-9826		
	すこやか教育相談24 0120-0-78310	平日の相談時間以外、 土、日、祝日、24時間 対応	
大阪法務局 人権擁護部	子どもの人権110番 0120-007-110	月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始除く) インターネットによる人 権相談(24時間受付) https://www.jinken.go.jp/	大阪市中央区谷町 2丁目1番17号
	子どもの人権SOS ミニレターによる相談 0120-007-110		
大阪府中央 子ども家庭センター	072-828-0161	月～金 9:00～17:45 (祝日・年末年始除く) 子どもや家庭についての 相談 おおむね、25歳までの 青少年についての相談 電話または来所による相 談	寝屋川市八坂町 28-5
大阪府枚方少年 サポートセンター	072-843-2000	月～金 9:00～17:45 (祝日・年末年始除く) 青少年の問題行動等に関 する相談	枚方市大垣内町 2丁目15-1 北河内府民 センタービル4階

3. 警察署

- ・枚方警察署：072-845-1234
- ・交野警察署：072-891-1234



ストップ!いじめ 令和5年8月

編集・発行 枚方市教育委員会 学校教育部 教育支援室 児童生徒支援課

枚方市車塚1丁目1番1号 輝きプラザきらら4階

050-7105-8048